

2

電話機能の使いかた

電話について	2-2
自分の電話番号を確認する	2-2
通話中に相手の声の音量を調節する	2-2
着信音量やスピーカー音量を調節する	2-3
待受中／着信中に着信音の音量を調節する	2-3
着信中に着信音を一時的に消す	2-3
アラームや再生音の音量を調節する	2-3
電話をかける	2-4
発着信履歴を利用して電話をかける	2-5
1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする	2-6
相手を絞り込みすばやく発信する	2-6
スピードダイヤルを利用して発信する	2-6
連絡先から電話をかける	2-7
プッシュ信号（DTMF）を送信する	2-7
日本国内から国際電話をかける	2-8
緊急電話（110／119／118）をかける	2-8
電話を受ける	2-9
海外で利用する	2-9
世界対応ケータイ	2-9
滞在先での電話のかけかた／受けかた	2-10
マナーモード	2-11
音量調節で設定する	2-11
オプションサービス	2-11
転送電話サービス	2-12
留守番電話サービス	2-12
割込通話サービス	2-13
グループ通話サービス	2-13
発着信規制サービス	2-14
発信者番号通知サービス	2-14

電話について

本機では音声電話を利用できます。ソフトバンク携帯電話以外に他社携帯電話や一般電話とも通話できます。また、転送電話や留守番電話など便利なオプションサービスが利用可能です。

国際電話

海外へ電話をかけたり、受けたりすることができます。

世界対応ケータイ

本機は世界対応ケータイに対応しています。お使いの電話番号をそのまま海外で利用できます。サービスの詳細、お客様のお申し込み状況に関しては、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

海外へ出かけるときは、世界対応ケータイサービスガイドを携帯してください。

自分の電話番号を確認する




1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「電話」タブ

画面上部にお客様の電話番号が表示されます。

- オナー情報でもお客様の電話番号を確認できます（14-3ページ）。

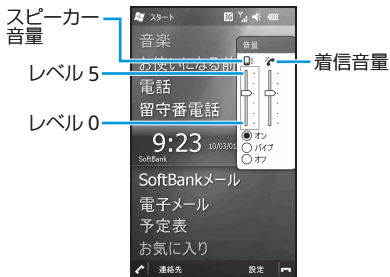
通話中に相手の声の音量を調節する

1 通話中に (音量大) または (音量小) を押す

- 通話中以外は受話音量を調節することはできません。
- 通話中にタイトルバーの音量アイコン  または 、 をタップし、受話音量のスライダーを上下になぞって調節することもできます。

着信音量やスピーカー音量を調節する

電話の着信音は🔊で調節できます。メールの着信音、「時計とアラーム」のアラーム、「予定表」のアラーム、「Windows Media® Player」や「動画」などの再生音は🔊で調節できます。



待受中／着信中に着信音の音量を調節する

電話の着信音量の調節は🔊（着信音量）で行います。また、メールの着信音量の調節は🔊（スピーカー音量）で行います。

- 1 タイトルバーの音量アイコン🔊または🔊をタップする
- 2 🔊（着信音量）または🔊（スピーカー音量）のスライダーを上下になぞって、着信音量を調節する

- 🔊（着信音量）または🔊（スピーカー音量）を「レベル0」に設定すると音が鳴りません。
- 電話着信中に🔊（着信音量）を変更した場合、次回の着信から反映されます。メール着信中に🔊（スピーカー音量）を変更した場合、着信中の音量から反映されます。
- 🔊（スピーカー音量）の「バイプ」や「オフ」をタップすると、音が鳴らなくなります。

着信中に着信音を一時的に消す

- 1 着信中に🔊（音量大）または🔊（音量小）を押す

アラームや再生音の音量を調節する

- 1 タイトルバーの音量アイコン🔊または🔊をタップする
- 2 🔊（スピーカー音量）のスライダーを上下になぞって、音量を調節する

- 🔊（スピーカー音量）の「バイプ」や「オフ」をタップすると、音は鳴りません。

2

電話機能の使いかた

電話をかける

2

電話機能の使いかた

- 1 **☎** をタップする
電話画面が表示されます。



電話画面

- 2 相手の電話番号を入力する

■電話番号を間違えたときは

- **←** をタップして入力した番号を消します。**←** をタップしたままにすると、入力した番号がすべて消えます。

- 3 **電話** をタップする

通話開始直後に画面ロックが設定され、約5秒後にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

- 4 通話が終了したら **終了** をタップする

- 連絡先に登録されている電話番号と入力した電話番号が一致した場合は、名前が表示されます。
- 連絡先に登録されていない電話番号を入力した場合は、「該当なし」と表示されます。
- 通話中に画面ロックが設定された場合、画面を2回たたくと通常の操作ができます。
- 通話中にスリープモードになった場合、画面を2回たたく、または **⏏** を押し、通常の操作ができます。
- 「スタート」⇒「電話」をタップしても電話画面を表示できません。
- 本機は、通話終了音（相手が先に電話を切ったときに聞こえる「ブーピー」という音）が鳴りません。

通話中画面の見かた



①状態表示エリア

サービスプロバイダー名、通話相手の情報、通話時間が表示されます。

②スピーカーオン/オフ

ハンズフリーを利用する場合に「スピーカーオン」をタップします。「スピーカーオフ」をタップすると元に戻ります。

ミュート

自分の音声相手に聞こえなくなります。

保留

通話を一時保留します。

通話の追加

別の相手に電話をかけます (2-13ページ)。

連絡先

連絡先一覧を表示します。

③終了

通話を終了します。

④キーパッド

タップすると電話画面が表示され、電話番号を入力できます。

⑤メニュー

タップすると、通話の保留、ミュート、スピーカーオン/オフ、連絡先の表示、メモの作成*などができます。

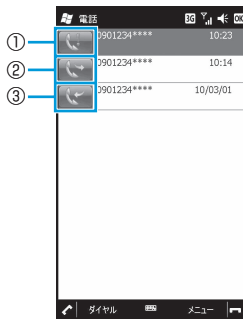
*メモ画面の「メニュー」から「録音ツールバーの表示」をタップし、通話中の音声を録音することができます。

- 着信時に相手の番号が通知されなかった場合、状態表示エリアに「非通知」（非通知設定／公衆電話の着信の場合）、または「不明」（通知不可能の場合）と表示されます。

発着信履歴を利用して電話をかける

1  「通話履歴」

通話履歴一覧が表示されます。



①不在着信

不在着信があったことを示します。

②発信

電話を発信したことを示します。

③着信

着信があったことを示します。

2 かけたい相手を選択する

通話履歴詳細画面が表示されます。

3 「ダイヤル」をタップする

4 通話が終了したら  をタップする

- 通話時間を表示する場合は、「通話履歴」→「メニュー」→「通話時間」をタップします。

リダイヤルする


1  を2回タップする

最新の通話履歴に電話をかけます。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけたときに自分の電話番号を相手の電話機に表示させることができます。

- 自分の電話番号を通知するかどうかを、一括して設定する方法については、「発信者番号通知サービス」(2-14ページ)を参照してください。

1  → 「186」(通知)／「184」(非通知)を入力する


2 相手の電話番号を入力する

3  をタップする

相手を絞り込みすばやく発信する

数字や記号を入力するごとに通話履歴や連絡先を絞り込んで検索することができます。

例：「2」「3」の順に絞り込む

1  → 「2」を入力する

連絡先の1文字目に「2」を含む候補が表示されます。

- 数字「0」～「9」以外に、「*」、「#」も検索できます。

2 「3」を入力する

連絡先の2文字目に「3」を含む候補が表示されます。

3 相手を選択し、「ダイヤル」をタップする

- 検索結果に相手が表示されない場合は、「メニュー」→「連絡先」をタップして、発信先を選択してください。

スピードダイヤルを利用して発信する

よくかける連絡先をスピードダイヤルに登録しておく、該当するキーを1秒以上タップするだけで発信できます。

スピードダイヤルを登録する

1  → 「スピードダイヤル」

スピードダイヤルリストが表示されます。

2 「メニュー」→「新規作成」

連絡先の選択画面が表示されます。

3 登録する相手を選択する

スピードダイヤル画面が表示されます。

4 登録する「電話番号」を選択する

5 「短縮番号」で割り当てる番号を選択し、「OK」をタップする

プッシュ信号（DTMF）を送信する

本機からプッシュ信号を送信し、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

- 1 通話中に「キーパッド」をタップする
- 2 「0」～「9」、「*」、「#」を入力する

連絡先から電話をかける

- 1 「スタート」⇒「連絡先」
連絡先画面が表示されます。


- 2 発信する相手を選択する

- 3 発信する電話番号をタップする

- 発信する相手を1秒以上タップし、ポップアップメニューから電話をかけることもできます。

- 短縮番号1は、「留守番電話」に割り当てられています。「1」を1秒以上タップすると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
- 登録する際は、短縮番号1以外の番号に割り当ててください。
- 連絡先からスピードダイヤルに登録するには、連絡先の名前を選択して「メニュー」⇒「スピードダイヤルに追加」⇒「短縮番号」で割り当てる番号を選択します。
- スピードダイヤルを削除するには、スピードダイヤルリストで削除したい相手を選択して、「削除」⇒「はい」をタップします。

スピードダイヤルで発信する

- 1  をタップし、短縮番号が割り当てられたキーを1秒以上タップする
登録された相手に発信されます。
 - 短縮番号が2桁の場合は、1文字目のキーをタップし、2文字目のキーを1秒以上タップします。
 - スピードダイヤルリストで、短縮番号をタップして発信することもできます。

日本国内から国際電話をかける

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されないことがあります。この場合、着信履歴から電話をかけることはできません。

1 をタップする

電話画面が表示されます。

2 + (「0」を1秒以上タップ) → 国番号 → 電話番号*を入力する

※相手先の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて押してください(ただし、イタリアの一般電話にかける場合は、「0」が必要です)。

- 国番号については、世界対応ケータイサービスガイドをご覧ください。

3 をタップする

4 通話が終了したら をタップする

詳しくは最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(16-27ページ)までご連絡ください。

緊急電話 (110 / 119 / 118) をかける

本機では以下の場合でも、110番(警察)、119番(消防・救急)、118番(海上保安本部)へは発信することができます。

- デバイスロック中(13-2ページ)
- 発信規制設定中(2-14ページ)

緊急通報位置通知について

「緊急通報位置通知」とは、本機から緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関(警察など)に対して通知するシステムです。

通知する位置情報は基地局情報*とGPS測位情報があります。本機はGPS測位に対応しているため、発信場所などによってGPS測位機能が利用できる場合は、GPS測位情報を通知します。本機が通知したGPS測位情報は、履歴に残ります。

※基地局情報の精度は、数100m~10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります(遠方の基地局電波を受信した場合など)。

- GPS測位情報を通知した場合は、測位情報がいつもNAVI(無料地図)(15-2ページ)の履歴に保存されます。
- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。

- 「緊急通報位置通知」機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」、「118」、「119」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。
- 海外で世界対応ケータイをご利用中は対象外となります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

2 「応答」をタップする

通話開始直後に画面ロックが設定され、約5秒後にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。


- デバイスロック中は、「応答」を右になぞります。また、「ロックの解除」をタップすると、通常の話中画面になります。

■ 着信を拒否する場合

「拒否」をタップします。

- デバイスロック中は、「無視」を右になぞります。

3 通話が終了したら をタップする

- 本機は応答保留ができません。
- 通話中に画面ロックが設定された場合、画面を2回たたくと通常の操作ができます。
- 通話中にスリープモードになった場合、画面を2回たたき、または  を押し、通常の操作ができます。

着信中の表示について

- 相手の電話番号が通知された場合、相手の電話番号が画面に表示されます。連絡先に登録されている電話番号と一致した場合は、名前が画面に表示されます。
- 相手の電話番号が通知されなかった場合、非通知理由が表示されます。

海外で利用する

世界対応ケータイ

滞在国内から滞在国内以外の一般電話や携帯電話へ電話をかけます。

ネットワークの種類を設定する

お客様のいる国や地域によっては、海外の通信事業者のネットワークを切り替える必要があります。

1 「スタート」⇒「設定」⇒「個人」⇒「電話」⇒「モード」タブ

2 モードを選択する

自動	利用できるネットワークを自動的に切り替えます。
3G	3Gネットワークを利用します。
GSM/ GPRS	GSM/GPRSネットワークを利用します。

3 「OK」をタップする

- モードを「自動」に設定しているときに同じ通信事業者のGSM/GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに接続します。
- 滞在先でモードを「GSM/GPRS」に設定した場合は、日本に帰国後、「自動」または「3G」に設定してください。

優先する通信事業者を設定する

本機に複数のネットワーク設定をしている場合、接続する通信事業者の優先順位を設定します。

1 「スタート」⇒「設定」⇒「個人」⇒「電話」⇒「ネットワーク」タブ

2 「優先するネットワーク」の「ネットワークの設定」をタップする

3 優先する通信事業者のネットワークを選択し、優先する順に並べ替える

- 優先するネットワークの一覧からネットワークを選択し、「上へ移動」／「下へ移動」をタップします。

4 「OK」をタップする

2

電話機能の使いかた



手動で通信事業者を設定する

- 1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「ネットワーク」タブ
- 2 「ネットワークの選択」で「手動」を選択する
- 3 通信事業者を選択し、「OK」をタップする

- 滞在先でネットワークの選択を「手動」にして通信事業者を設定した場合は、日本に帰国後、「自動」に設定してください。



滞在先での電話のかけかた／受けかた

滞在国外（日本含む）に電話をかける

- 1  をタップする
電話画面が表示されます。
- 2 +（「0」を1秒以上タップ）→国番号→電話番号*を入力する
※相手先の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて押してください（ただし、イタリアの一般電話にかける場合は、「0」が必要です）。
● 国番号については、世界対応ケータイサービスガイドをご覧ください。
- 3  をタップする

滞在国内に電話をかける

滞在先の国の一般電話／携帯電話へかける場合は、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。国番号を入力したり、相手の市外局番の最初の「0」を除いたりする必要はありません。

- 1  をタップする
電話画面が表示されます。
- 2 電話番号を入力する
● 一般電話にかける場合は、市外局番＋電話番号を入力します。
- 3  をタップする

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

マナーモードを設定すると、振動で着信をお知らせします。

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑にならないよう気配りを忘れないようにしましょう。

- 映画館・劇場・美術館などでの鑑賞中は電源をお切りください。
- 電車や新幹線、航空機の中などでは、車内および機内のアナウンスや掲示に従ってください。
- 病院・研究所などの使用が禁止されている場所では、精密機器などに影響を及ぼす場合がありますので電源をお切りください。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないようご注意ください。
- 街の中では、通行の妨げにならないように十分ご注意ください。

1 「スタート」⇒「設定」⇒「システム」⇒「マナーモード」



2 「マナーモード(パイプのみ)」⇒「OK」

タイトルバーにが表示されます。

■マナーモードを解除する場合

「スタート」⇒「設定」⇒「システム」⇒「マナーモード」⇒「解除」／「マナーモード(パイプなし)」⇒「OK」


音量調節で設定する

1 タイトルバーに表示されている音量アイコンのまたはをタップする

2 「パイプ」をタップする

タイトルバーにが表示されます。

■マナーモードを解除する場合

タイトルバーに表示されている音量アイコンのをタップし、「パイプ」以外をタップします。

- マナーモード設定中には、以下の音が鳴りません。カメラのシャッター音やビデオの開始音、終了音は鳴ります。

- ・ 電話着信音
- ・ メール、SMS着信音
- ・ 「時計とアラーム」のアラーム音
- ・ 予定表のアラーム音
- ・ 電池切れのアラーム音
- ・ 各プレイヤーの再生音

- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。

サービス名称	内容
転送電話サービス	かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話にできないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言をお預かりします。
割込通話サービス*	今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受け取ることができます。
グループ通話サービス*	通話中に別の相手に電話をかけ、同時に複数の相手と通話できます。
発着信規制サービス	国際電話を含む、すべての発着信を規制できます。
発信者番号通知サービス	自分の電話番号を相手に通知することができます。

*割込通話サービスとグループ通話サービスをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。詳しくは、お問い合わせ先(16-27ページ)までご連絡ください。

転送電話サービス

- 1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「サービス」タブ
- 2 「転送電話」→「設定の取得」
- 3 必要な項目を設定する

すべての着信通話を転送する	チェックを付け、「宛先」に転送先の電話番号を入力します。
転送する条件	転送する条件を「応答なし」／「圏外／電源オフ時」／「通話中」から選択し、転送先の電話番号を入力します。 「応答なし」を選択した場合は、転送までの時間を「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」から選択します。

- 4 「OK」をタップする


留守番電話サービス

- 1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「サービス」タブ
- 2 「転送電話」→「設定の取得」
- 3 必要な項目を設定する

すべての着信通話を転送する	チェックを付け、「宛先」に「09066517000」を入力します（2009年10月現在）。
転送する条件	転送する条件を「応答なし」／「圏外／電源オフ時」／「通話中」から選択し、「09066517000」を入力します。 「応答なし」を選択した場合は、転送までの時間を「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」から選択します。

- 4 「OK」をタップする

伝言メッセージを聞く

- 1 伝言メッセージが録音されると、デバイスロック画面に通知アイコンが表示される
- 2 スライダーをタップし、を左右になぞる

以降は音声ガイダンスに従って操作します。

- ホーム画面に留守番電話メッセージが表示されている場合は、「留守番電話」をタップします。メッセージが消えたときは、「通知」をタップすると再表示されます。

- 電話画面（2-4ページ）で「1」を1秒以上タップしても、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。

割込通話サービス

1 「スタート」→「設定」→「個人」→「電話」→「サービス」タブ

2 「割り込み通話」→「設定の取得」

3 「通知する」または「通知しない」を選択し、「OK」をタップする

「通知する」に設定すると通話中に電話がかかってきたときに、音声と表示で通知されるようになります。

● 通話中の相手を保留にしてあとからかかってきた電話に応答する場合は、「応答」をタップします。また、相手を切り替えるには「切り替え」をタップします。

グループ通話サービス

● 画面に表示される「三者通話」とは、グループ通話を指しています。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中に「保留」をタップする
通話中だった相手は保留になります。

2 「通話の追加」をタップし、電話番号を入力する

3  をタップする

「通知する」に設定すると通話中に電話がかかってきたときに、音声と表示で通知されるようになります。

4 通話を切り替えるには「切り替え」をタップする

● グループ通話サービスをお申し込みされていない場合は、保留することはできません。

複数で同時に通話する

1 通話中に「保留」をタップする

2 「通話の追加」をタップし、追加相手の電話番号を入力する

3  →「三者通話」

複数の相手と同時に通話することができます。

グループ通話中に別の相手を加える

1 通話中に「保留」をタップする

2 「キーパッド」をタップし、追加相手の電話番号を入力する

3  →「三者通話」

グループ通話中に1人とだけ通話する

1 グループ通話中に「プライベート」をタップする

2 通話したい相手を選択し、「プライベート」をタップする

発着信規制サービス

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「個人」⇒「電話」⇒「サービス」タブ
- 2 「発着信規制」⇒「設定の取得」
- 3 制限したい項目を選択する

着信制限	すべての通話	すべての電話着信やSMSの受信ができません。
	ローミングサービス利用時の通話	海外での使用時に、すべての電話着信やSMSの受信ができません。
	オフ	着信制限をオフにします。
発信制限	すべての通話	緊急電話(110/119/118)を除く、すべての電話発信、SMSの送信ができません。
	国際通話	すべての国際電話の発信ができません。
	自国以外への国際通話	日本または滞在国以外への発信ができません。
	オフ	発信制限をオフにします。

- 4 「OK」をタップする
- 5 発着信規制用暗証番号を入力し、「OK」をタップする

- 発着信規制用暗証番号の入力を2回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号(1-7ページ)の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(16-27ページ)までご連絡ください。

発着信規制用暗証番号を変更する

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「個人」⇒「電話」⇒「発着信規制暗証番号」タブ
- 2 「パスワード変更」をタップする
- 3 古いパスワードと新しいパスワードを入力する
- 4 確認のため新しいパスワードを再入力する
- 5 「完了」をタップする

発信者番号通知サービス

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「個人」⇒「電話」⇒「サービス」タブ
- 2 「発信者番号通知」⇒「設定の取得」
- 3 「すべてのダイヤル先に通知しない」/「通知しない」/「連絡先にあるダイヤル先のみ通知」を選択し、「OK」をタップする

- 電話をかけるたびに発信者番号の通知/非通知を指定することができます(2-6ページ)。通話ごとに指定する設定のほうが、発信者番号通知サービスの設定よりも優先されます。